



ゆうあい通信

治療が必要な不整脈・徐脈

心臓は左心房にある洞結節の電氣的刺激が心房→房室結節→心室へと伝わり、心室が収縮することで肺や全身に血液を送り出しています。洞結節は自律神経の支配を受け、心拍は交感神経優位で速くなり副交感神経（迷走神経）優位で遅くなります。

不整脈には心拍数が1分間に50回以下と極端に遅い徐脈や、逆に安静時に120回以上と速い頻脈があります。頻脈は心臓がドキドキする動悸を自覚することで発見が早く多くが治療の対象となりますが、徐脈には治療が必要でないものもあります。副交感神経優位の夜間睡眠時の徐脈や長くスポーツをやっている人で安静時に徐脈となることがありますが、自覚症状もなく問題ありません。また、長時間立ち続けたり強い痛みを感じた時やワクチン接種や排尿排便後など、急に気分が悪くなり冷や汗やめまいを起し、ひどいと意識がなくなることがあります。これは迷走神経の反射による徐脈と血圧低下で起こります。一時的なものなので寝かせて足を心臓より高く上げるなど適切に対処することで治まります。

一方、徐脈が持続してふらつきやめまい、失神発作など脳循環障害の症状を認め、心機能低下による息切れやむくみ、呼吸困難など心不全の症状があれば治療が必要となります。原因としては洞結節の異常でおこる洞不全症候群、頻脈徐脈症候群や刺激伝導系の障害により刺激が完全に伝わらなくなる完全房室ブロックなどがあります。

診断は外来で心電図によって行いますが、一時的に伝導障害がある場合には症状のない時の心電図では異常が見られないため、24時間心電図（ホルター心電図）を行いチェックする場合があります。入院してカテーテル電極を使用した心内心電図を解析する心臓の電気生理学的検査で診断する例もあります。症状のある徐脈の治療は機械で電氣的に心臓を刺激するペースメーカーの植え込み術を行います。

めまい、ふらつき、足のむくみや息切れなどはよくある症状で原因はさまざまですが、その中に徐脈によるものもありますので注意してください。

院長 横井 清

インフルエンザワクチンの予防接種について

清須市の高齢者（満65歳以上）および妊婦・子ども（満18歳まで）へのインフルエンザワクチン予防接種の助成は令和6年1月末までです。できるだけ12月中に接種を済ませて新年をお迎えください。

なお、接種を済ませても感染症対策の手洗い・顔洗い・うがい、マスク着用などの予防と十分な睡眠・バランスの良い食事で免疫力を高めてお過ごしください。



（ご予約：電話401-1611）

【 特定・後期高齢者健診 個別がん検診について 】

当クリニックでは、特定健診が11月29日(水)まで、

そのほかは12月27日(水)が最終日となります。

(検便は2回分とも最終日までのご提出が必要です)

まだお済みでない方はぜひお早目にお申し込みください。

1年に1度ご自身のお体の状態をチェックなさることを

お勧めいたします。



◆ 年末年始のお休みについて ◆

12月29日(金)から1月3日(水)までお休みさせていただきます。

ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いいたします。

ゆうあいクリニック ◆リハビリに関するご質問などお気軽にお尋ねください

当院は愛知医療学院短期大学(理学療法士・作業療法士を養成しています)が運営するクリニックです

診療内容

内科・小児科・整形外科・外科
リハビリテーション科

診療時間

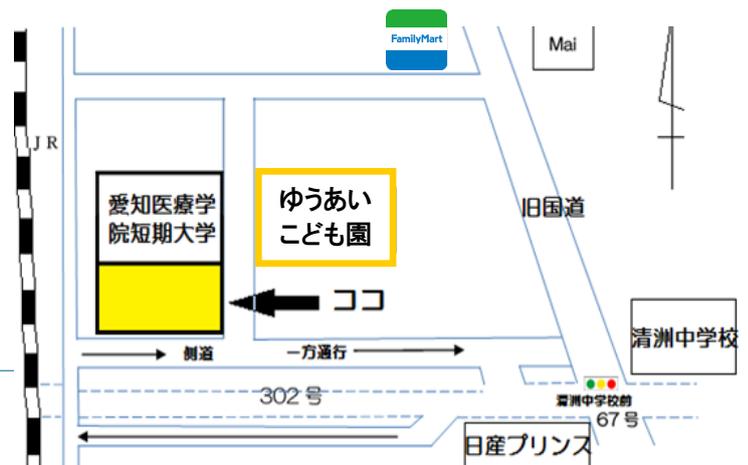
月～金 9:00～12:00
13:00～16:00

休診日

土曜日・日曜日・祝日

〒452-0931 清須市一場 518
TEL (052) 401-1611

付近略図



愛知医療学院大学

リハビリテーション学部 リハビリテーション学科
理学療法専攻 作業療法専攻



40年にわたるリハビリテーション教育の
実績を継承し、更なる高みへ

2024年4月開学

